

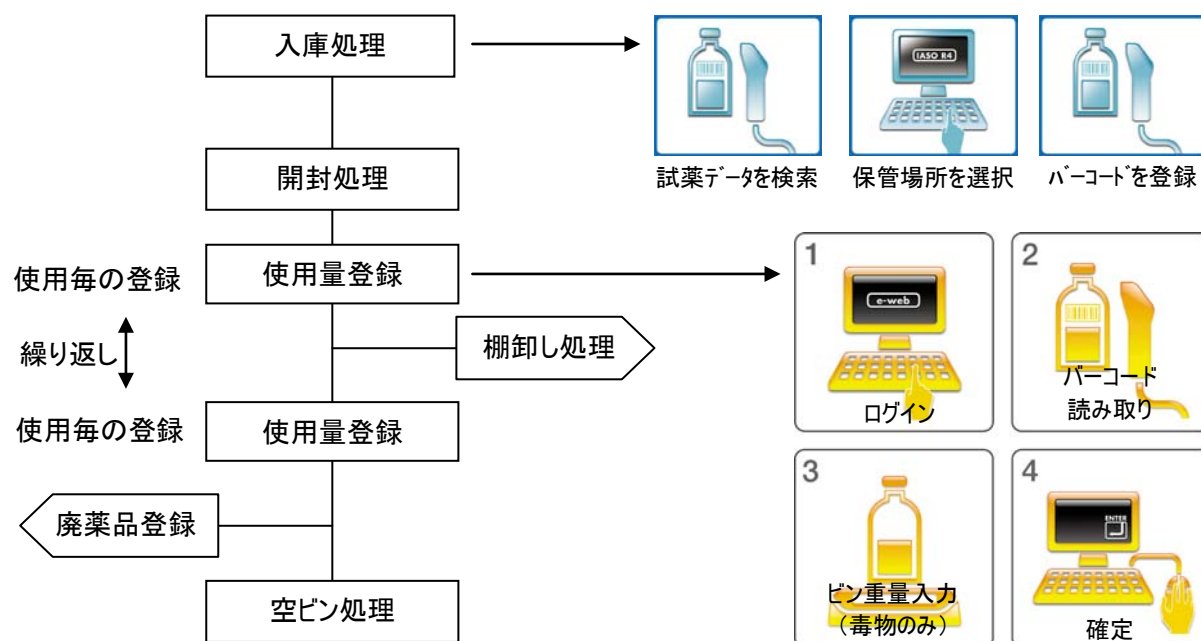
TITech ChemRSⅢ講習会

TITech ChemRS とは

本学では、各研究室で購入した試薬は全てビン1本1本に管理番号（TITechバーコード）を付けて管理しています。また、毒物については「いつ」、「誰が」、「何処の」、「何を」、「何のために」、「どれだけ購入したか」と「どれだけ使ったか」を正確に記録しています。

本システムはスーパーコンピュータ TUBAME に設置されている化学物質管理用サーバで全学にサービスを提供しており、本学ネットワークに接続している不特定のパソコンで利用できます。

化学物質管理用サーバシステムには、試薬メーカーから提供していただいたカタログのデータと各研究室が独自で蓄積したデータが約32万品種登録されており、この試薬データベースを利用して、購入した試薬をサーバに登録するとともに、試薬の持出 or 返却の都度、管理番号（TITechバーコード）をキーに、各画面の要求に沿って必要な情報をシステムへ登録できます。



TITech ChemRS のサーバアドレス

大岡山・田町地区:

e-web http://chemrs-o.envpro.titech.ac.jp/r5_ew/
Data Manager http://chemrs-o.envpro.titech.ac.jp/r5_dm/

重量管理:

e-web http://chemrs-g.envpro.titech.ac.jp/r5_ew/
Data Manager http://chemrs-g.envpro.titech.ac.jp/r5_dm/

すずかけ台地区:

e-web http://chemrs-s.envpro.titech.ac.jp/r5_ew/
Data Manager http://chemrs-s.envpro.titech.ac.jp/r5_dm/

■ TITech ChemRS の沿革

平成12年 7月	化学物質管理検討作業部会の設置、協議開始
平成13年 3月	東北緑化環境保全製(販売元 関東化学)「IASO2000」を基本ソフトとして導入
平成13年 4月	20研究室を対象に試験運用開始(運用ルールの検討、問題点の抽出、システム改良)
平成13年 12月	東京工業大学オリジナルシステム「TITech ChemRS」が完成、全学にサービス開始
平成14年 4月	化学物質を使用する全研究室で運用開始
平成15年 9月	各研究室の要望を取り入れた「TITech ChemRS II」のサービス開始
平成19年 9月	スーパーコンピュータ TUBAME をサーバとした新システム「TITech ChemRS III」のサービス開始

■ e-web の起動

① ウェブブラウザ(Internet Explorer 6.0/7.0, Safari を推奨)

を起動して、アドレス欄に以下の URL を入力します。

大岡山・田町地区:

http://chemrs-o.envpro.titech.ac.jp/r5_ew/

重量管理:

http://chemrs-g.envpro.titech.ac.jp/r5_ew/

すずかけ台地区:

http://chemrs-s.envpro.titech.ac.jp/r5_ew/

正常に化学物質管理用サーバに接続されればログイン画面(Fig.1)が表示されます。

※ TITech ChemRS III からアクセス先が変更となりました。

② Group ID 欄にアルファベット 3 文字の ID を、Password 欄にパスワードを入力して、ログインボタンを押して下さい。

A ログイン時に使用言語(日本語・英語)が選択できます。

B ログインボタン下のリンク“初めてお使いの方に”をクリックすると、TITech ChemRS III を使用するための設定方法を記載したドキュメントが表示されます。

記載されている手順に従い、事前に利用されるパソコンの設定をしてください。

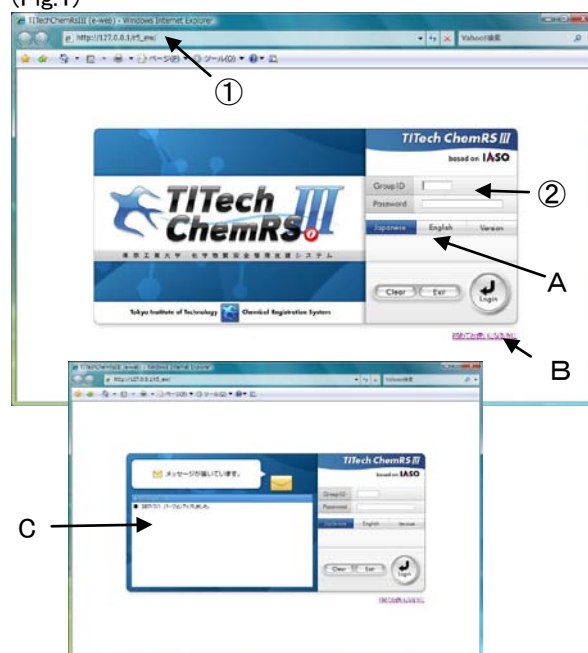
C 環境保全室からシステムに関する連絡がある場合は、ログイン画面にメッセージが表示されます。

③ ログインすると、メイン画面(Fig.2)が表示されます。上部中央にログイン者のグループID、グループ名、ユーザー名が表示されますので確認してください。

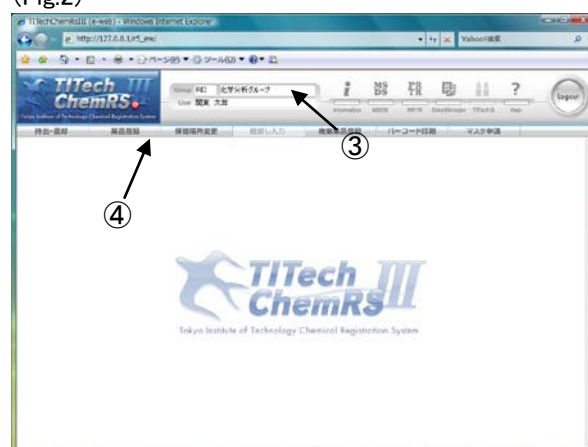
④ 画面上部に機能メニューから、目的とする処理をクリックして下さい。

※ 公開されていない機能、使用権限の無い機能のボタンはエンボスになっており、選択できません。

(Fig.1)



(Fig.2)



■ TITech バーコードラベルの印刷 【バーコード印刷】

- ① メニューバー上の“バーコード印刷”ボタンを押すとプルダウンメニューが表示されますので、発行したいラベルサイズを選択してください (Fig.3)。

タイプ R: A4 用紙 1 枚に 44 本分のラベルが印刷できます。
シール式台紙は市販のタックシールを使用します。
従来のタイプ A が名称変更になりました。

タイプ S: A4 用紙 1 枚に 80 本分のラベルが印刷できます。
TITech ChemRSⅢから追加された規格で、シール式台紙は関東化学で販売しています。

タイプ B: A4 用紙 1 枚に 108 本分のラベルが印刷できます。
シール式台紙は関東化学で販売しています。

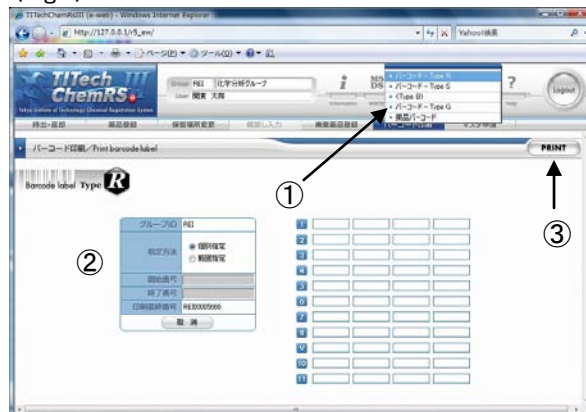
- ② 指定方法を設定してください。“個別指定”を選択した場合はカラムに作成したいバーコード番号を直接入力、“範囲指定”を選択した場合は作成したいバーコード番号の開始と最終番号を指定欄に入力します。
- ③ “PRINT”ボタンを押すと印刷プレビュー画面(Fig.4)が表示されます。ファイル(F)⇒印刷(P)を選択して印刷を実施してください。

※ タイプ B は、タイプ R および S に比べて印刷に精度を要求いたします。バーコードが左右に極端に寄ったものは読み取りができませんので、印刷時に位置調整を実施ください。

※ バーコードラベルの印刷には 600dpi 以上のモノクロレーザープリンタを推奨しています。

※ 本機能は Windows では Active X、Macintosh では PDF を利用しております。Windows パソコンでラベルを印刷する場合は「信頼済みサイト」の登録を実施してください。

(Fig.3)



(Fig.4)



シール式バーコードラベル台紙は生協で販売しております。

■タイプ R: 20 枚包装(880 片) 標準価格 1,200 円 (エーワン 製品番号 28388、コクヨ他でも同等品有り)

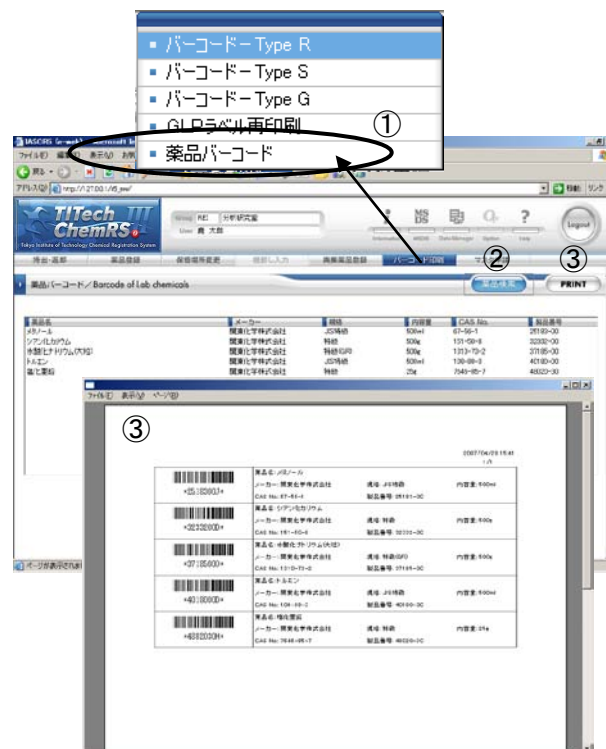
■タイプ S: 25 枚包装(2,000 片) 標準価格 2,500 円 (関東化学 製品番号 96970-04)

■タイプ B: 25 枚包装(2,700 片) 標準価格 2,500 円 (関東化学 製品番号 96970-02)

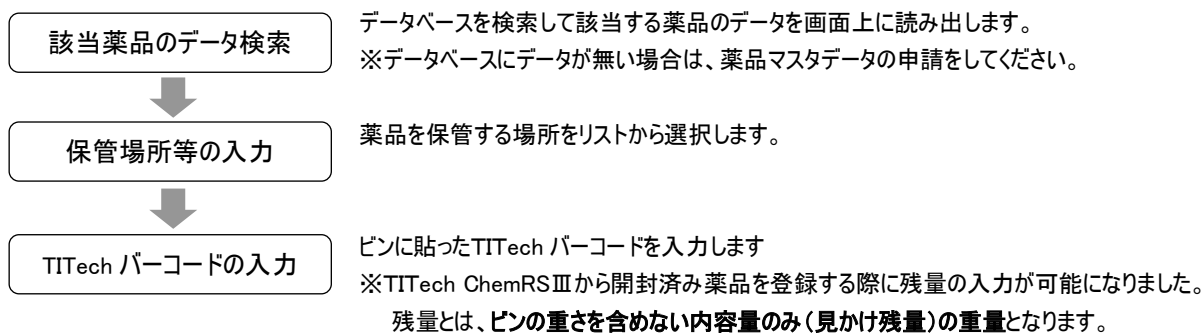
【薬品バーコード印刷】

薬品登録処理の際に便利な、バーコード情報付きの薬品リストが作成できます。よく使用される薬品や缶入溶剤などの薬品登録処理にご利用ください。

- ① メニューバー上の“バーコード印刷”ボタンを押すとプルダウンメニューが表示されますので、薬品バーコードを選択してください。
 - ② 「薬品検索」ボタンを押し、リストにしたい薬品を指定いたします。指定した薬品が画面上に追加されます。
 - ③ 「PRINT」ボタンを押すと印刷プレビュー画面が表示されます。ファイル(F)⇒印刷(P)を選択して印刷を実施してください。
- ※ 本機能は Windows では Active X、Macintosh では PDF を利用しております。Windows パソコンでラベルを印刷する場合は付録Aを参考にし、「信頼済みサイト」の登録を実施してください。

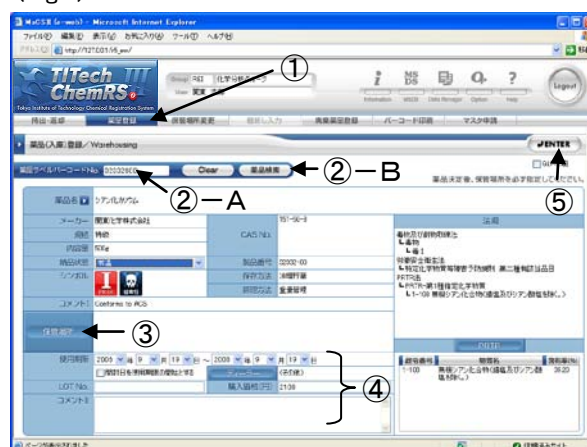


■購入した薬品の登録（薬品登録）



- ① メニューバー上の“薬品登録”ボタンを押すと薬品登録画面(Fig.5)に切り替わります。
- ② 該当薬品のデータをサーバから検索して、画面上に読み出します。
 - A 試薬ラベルにバーコードの記載がある場合は、そのバーコードを読み取ります。
 - B 試薬ラベルにバーコードの記載が無い場合は“薬品検索”で薬品を特定してください。
- ③ “保管場所”をクリックしてサブフォームを呼びだし、保管場所を選択します。この時、**研究室名のみに登録するのはなく、きちんと保管場所を選んで登録して下さい。**
- ④ 必要に応じて使用期限、Lot No.、購入先（ディーラー）、購入価格、コメントⅡが入力できます。これらは必須事項ではありません。

(Fig.5)



- ⑤ “ENTER”ボタンを押してください。TITechバーコードの入力画面(Fig.6)が表示されます。
- ⑥ 薬品ビンに貼った TITech バーコードを入力します。
- ⑦ 開封済み薬品(使用中の薬品)を入力する場合は、□にチェックを入れ、登録する薬品の残量を入力してから TITech バーコードを入力してください。残量を入力する際、ビンの重さは含めない内容量(見かけ残量)のみを入力します。
- ⑧ “決定”ボタンを押して登録完了します。

同じ薬品を同じ場所に続けて登録する場合は、処理継続を選択し、TITech バーコードラベルを読み取ってください。

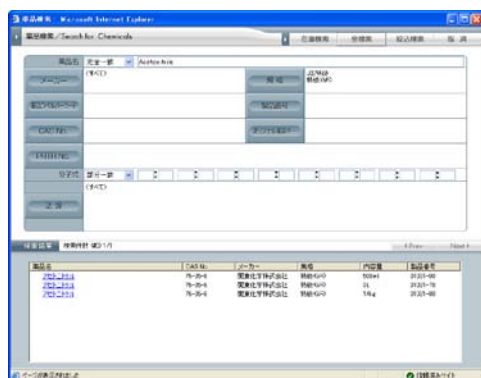
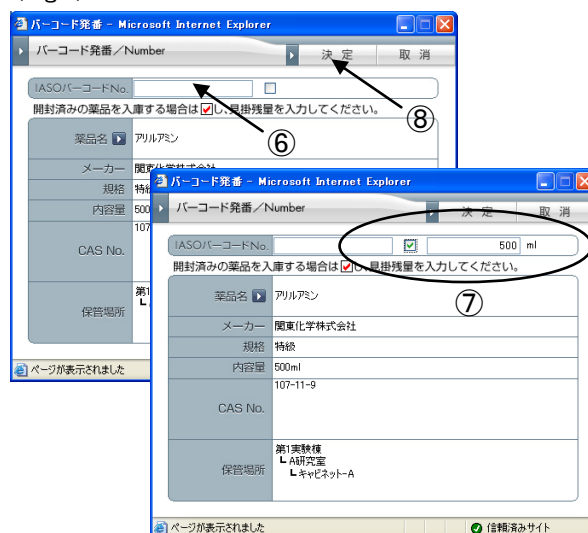
※バーコードが重複した場合は「入力したバーコードは既に存在します。」のメッセージが表示されます。

注:工学系、理学系では、水銀を使用している機器(温度計、マノメータ等)も

試薬同様にTITech ChemRSに登録管理しています。

また、登録の際は機器総重量をコメントⅡに記入願います。

(Fig.6)



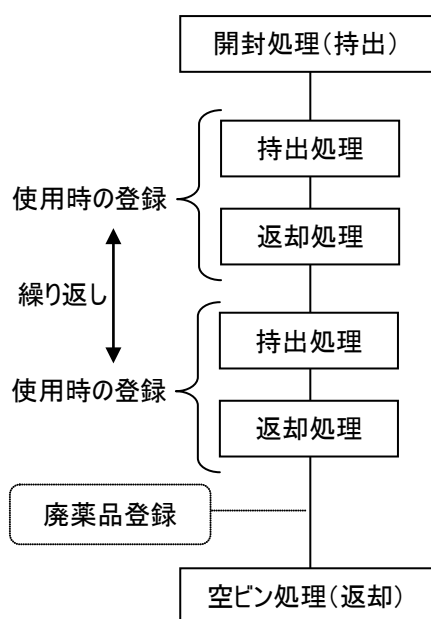
薬品検索について

薬品検索機能は薬品登録以外にも薬品情報やMSDSの参照、集計条件設定他で使用する使用頻度が高い機能です。

検索条件(薬品名、CAS No.、分子式、法規…)を入力し、薬品検索を行なってください。在庫品は  マーク付きで表示されます。サーバのデータ全てを検索対象とする場合は“全薬品”ボタンを、在庫品のみを検索対象とする場合は“在庫検索”ボタンを押します。

TITech ChemRSⅢからは絞込み検索にも対応いたしました。検索結果を基に更に条件を付加して検索ができます。

■使用履歴の記録(持出・返却)



1 本 1 本の薬品の使用開始(開封)から使用終了(空ビン)までの使用履歴をシステムに記録いたします。

該当法律によりシステムの入力方法が変わります。

重量管理品: 毒物(特定毒物を含む)

- ① 該当薬品を使用する都度 TITech ChemRSⅢを使用してください。
- ② 使用する前(持出時)に薬品のビン込みの重量を秤量し、登録します。
- ③ 使用后(返却時)にビン込みの重量を登録します。なお、薬品を使い切った場合は空ビン処理を行ってください。
- ④ 使用前、使用後の薬品ビン重量の差が使用量として登録されます。

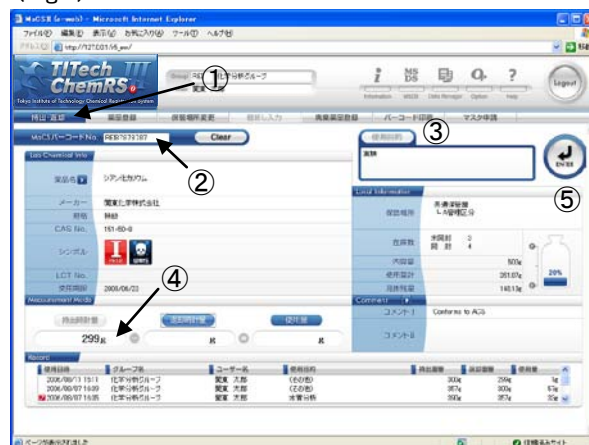
単位管理品: 毒物以外

- ① 最低限、開封時(使用開始)と空ビン時(使用終了)に TITech ChemRSⅢを使用してください。
- ② 使用毎の薬品ビン重量の登録は行いません。使用量は空ビン処理を行うと自動的に記録されます。(試薬の包装容量が使用量となります)

【持出処理】

- ① メニューバー上の”持出・返却”ボタンを押すと持出・返却処理画面(Fig.7)に切り替わります。
- ② TITech バーコードラベルを読み取ります。
- ※ 未開封の薬品は、「開封処理を行います。よろしいですか?」のメッセージが表示されます。
- ③ “使用目的”をクリックして使用目的を選択します。
- ④ 重量管理品の場合はピン込みの重量を“持出時計量”フィールドに入力します。
単位管理品は、“持出時計量”フィールドはエンボス表示になり入力できません。
- ⑤ “ENTER”ボタンを押します。以上で持出処理は完了です。
- ※ TITech ChemRSⅢで対応している天秤が接続されている場合、“持出時計量”ボタンを押せば計量値が自動入力されます。現在、Mettler、Sartorius、島津製作所、A&Dの現行機に対応しています。

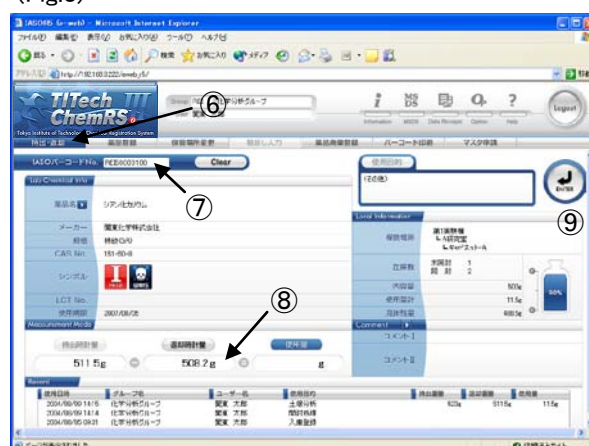
(Fig.7)



【返却処理】

- ⑥ メニューバー上の”持出・返却”ボタンを押すと持出・返却処理画面(Fig.8)に切り替わります。
- ⑦ TITech バーコードラベルを読み取ります。
- ⑧ 持出処理と同様に、重量管理品の場合はピン込みの重量を“返却時計量”フィールドに入力します。
単位管理品は“返却時計量”フィールドはエンボス表示になり入力できません。
- ⑨ “ENTER”ボタンを押してください。登録確認画面(Fig.9)が表示されます。
- ⑩ 使用内容について記録しておくことがあれば、コメント欄に自由に記入できます。この項目は必須ではありません。
- ⑪ 返却処理を確定します。
保管場所に戻す場合: “登録”ボタンを押してください。
空ビンになった場合: “空ビン登録”ボタンを押してください。
- ※ 必ず使い切った薬品は空ビン登録(空ビン処理)を行ってください。空ビン登録を行う事で、その薬品はグループの在庫から外されます。

(Fig.8)



(Fig.9)



TITech ChemRSⅢでは、計量値の入力ミスや間違ってしまった空ビン処理等の使用履歴の修正は管理者でも処理できませんので、以下の方法で対応願います。

計量値の入力ミス: ミス内容を相殺する値を入力して訂正し、その旨をコメントⅢに記載してください。

間違った空ビン処理: 新しい TITech バーコードを貼り、開封済み薬品(途中入庫)として再登録願います。その時、

コメントⅢに間違えて空ビン処理をしたバーコードNo. と理由を忘れずに入力してください。

登録時の薬品名間違い(ちがう物質として登録してしまった場合)は環境保全室にご相談ください。

【使用履歴記録のまとめ】

- 毒物の場合：
- ① 必ず試薬を使用する都度システムを通してください。
 - ② 試薬を使用する前(持出時)に試薬ビンの重量を登録します。ENTERを押す前に画面下に表示されている履歴の返却重量と、持出時計量が同じかどうか確認してください。違っている場合は登録漏れか紛失が考えられますので、教員と一緒に薬品履歴や実験ノート等で使用履歴等を確認してください。
 - ③ 試薬の使用後(返却時)に試薬ビンの重量を登録します。なお、試薬を使い切った場合は空ビン処理を行ってください。
 - ④ 使用前、使用後の試薬ビン重量の差が使用量として登録されます。
- ※ 毒物は年度末に在庫確認(棚卸し)を実施しているので、正しく使用していないとチェック時に手間がかかり、誤差に対して理由書が必要となります。空ビン処理忘れ、ビン重量の登録ミスに注意してください。
- 毒物以外の場合：
- ① 最低限、試薬の開封時と空ビン時にシステムを通してください。
 - ② 使用毎の試薬ビン重量の登録は行いません。使用量は空ビン処理を行うと自動的に記録されます。(試薬の包装容量が使用量となります)
- ※ 劇物は試薬ビン重量の登録は行いませんが、出来る限り仕様の都度の持出処理・返却処理を行ってください。

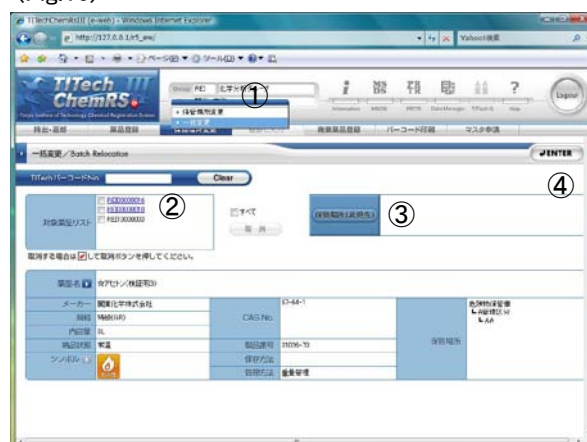
管理方法	薬品持出時(開封時)	薬品返却時(空ビン時)
重量管理 (毒物)	    ログイン ⇒ 情報入力 ⇒ 計量 ⇒ 確定	    ログイン ⇒ 情報入力 ⇒ 計量 ⇒ 確定
単位管理 (毒物以外)	   ログイン ⇒ 情報入力 ⇒ 確定	   ログイン ⇒ 情報入力 ⇒ 確定

■ e-web その他の機能

【保管場所変更】

- ① メニューバー上の“保管場所変更”ボタンを押すとプルダウンメニューが表示(Fig.10)されますので、“保管場所変更”または“一括変更”を選択します。
“保管場所変更”は1本ずつ、“一括変更”は複数の薬品の保管場所を一括変更できます。
- ② 移動したい薬品の TITech バーコードを読み取ります。
- ③ 移動先の“保管場所(変更先)”を選択します。
- ④ “ENTER”ボタンを押して登録します。

(Fig.10)



【棚卸し入力】

データベースと実際の在庫が一致しているかを確認・修正する機能です。

【廃棄薬品登録】

- ① メニューバー上の“廃棄薬品登録”ボタンを押すと廃棄薬品登録画面(Fig.11)に切り替わります。
 - ② 不要となり処分する薬品の TITech バーコードを読み取ります。
 - ③ “廃棄分類”をクリックして、分類を選択します。
 - ④ 廃棄する量をキーボード入力します。
 - ⑤ “ENTER”ボタンを押して登録します。対象の薬品ピンは空ビン処理がされ貴グループの在庫から外されます。
- ※ 廃棄薬品登録で登録した分は使用量にはエントリーされません。空ビン処理と混同されないようご注意ください。
- ※ 総合安全管理センターに廃棄依頼する際に必要な廃棄申込書は本機能を使用しないと作成できません。

(Fig.11)



【マスタ申請】

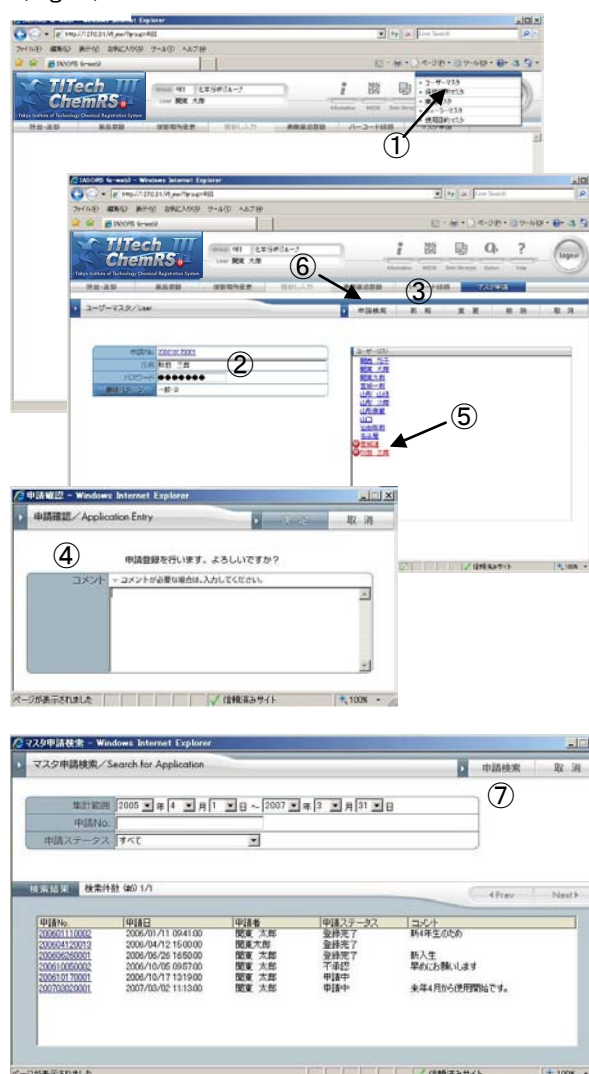
ユーザーマスタ、保管場所マスタ、薬品マスタ、ディーラーマスタ、使用目的マスタの4つのマスタの追加は、申請内容を環境保全室が承認することでシステムに登録されます。

- ① メニューバー上のマスタ申請ボタンを押すと、申請可能なマスタ項目がサブメニューで表示されます(Fig.12)。申請したいマスタ項目を選択してください。
- ② マスタ申請入力画面が表示されますので、登録したい内容を入力してください(画面はユーザーマスタです)。
- ③ 内容確認後、“新規”ボタンを押してください。申請登録確認画面が表示されます。
- ④ 環境保全室に対して申請について伝言があれば、コメント欄に記入できます。
- ⑤ 申請登録後、申請内容がリストに赤く表示されます。申請リストが赤く表示されているものに関しては、変更・削除が可能です。
- ⑥ 申請検索ボタンを押すと集計範囲、申請 No.、申請ステータス(申請中、登録完了、不承認、登録中エラー発生)の各々の条件で検索できます。
- ⑦ 各条件を選択後、“申請検索”ボタンを押すと該当するデータが、申請ステータスと一緒に表示されます。

申請 No.を押すと申請入力画面に移ります。

※ TITech ChemRS のマスタ登録時の入力に不十分な申請が散見されます。薬品マスタ申請をご確認いただき、申請時の必須項目、准必須項目は入力するようお願いします。(准必須項目が入力出来ない場合はコメントに理由を明記して下さい。)不十分な申請は承認されない場合があります。

(Fig.12)



【ツールバー】

- ① "Information" ボタンを押すとサブメニューが表示されます。
 薬品情報: 画面に表示されている薬品の薬品マスターデータが表示されます。
 在庫情報: 画面に表示されている薬品の在庫場所および在庫数の一覧が表示されます。
 使用中薬品リスト: 持出中で返却されていない薬品の一覧が表示されます。
 緊急連絡先: 設定された緊急連絡先が表示されます。
- ② ブラウザ上で MSDS (製品安全データシート) の情報を表示します。
 「持出・返却」等で薬品を選択している状態で選択すると、その該当薬品の MSDS が表示されます。確認したい薬品を検索し、検索リストから薬品を決定することも可能です。
- ③ ブラウザ上で PRTR ファクトシートを表示します。
- ④ 集計系プログラムの Data Manager へのリンク機能です。
- ⑤ ブラウザ上で、TITech ChemRS Ⅲ の詳細な取扱説明書を表示します。



■ Data Manager について

Data Manager は TITech ChemRSⅢで登録した薬品使用履歴に基づき、グループ内で所有・消費した薬品について次の作業を行うための“集計系プログラム”です。

Data Manager ではサーバで管理されているデータに変更を加えません。各画面は直感的に操作可能なインターフェースに統一しておりますので、まずはログインして各メニューをお試しください。

メインメニュー	サブメニュー	機能概要
在庫リスト	—	保管場所・法規・薬品を条件に現在庫の一覧表を作成。
使用量集計リスト	法規	期間・保管場所・法規・薬品を条件に使用量を集計。
	使用目的	期間・保管場所・使用目的・薬品を条件に使用量を集計。
	ユーザー	期間・保管場所・ユーザー・薬品を条件に使用量を集計。
指定数量計算	—	保管場所を指定して消防法の指定数量を計算。
薬品履歴リスト	—	薬品 1 本 1 本の詳細な管理台帳を参照。
棚卸しリスト	—	棚卸しの結果の確認。過去の棚卸し結果も参照可能。
使用期限リスト	—	使用期限切れ薬品のリストアップ。将来切れる薬品もリストアップ可能。
入庫／空ビンリスト	入庫薬品リスト	期間・保管場所・法規・薬品を条件に、登録した薬品の一覧表を作成。
	空ビン薬品リスト	期間・保管場所・法規・薬品を条件に、使用終了した薬品の一覧表を作成。
PRTRリスト	購入量リスト	対象物質の購入量を政令番号毎に集計。
	排出／移動量リスト	対象物質の排出／移動分類を政令番号毎に集計。
	在庫量リスト	対象物質の現在庫量を政令番号毎に集計。
廃棄薬品リスト	—	廃棄登録した薬品を期間・保管場所・薬品を条件に一覧表を作成。
発注処理	発注点リスト	指定した在庫量を下回った薬品をリストアップ。注文書に展開が可能。
	発注メモ作成	薬品マスターデータを利用して注文書を作成。
	発注履歴	過去の注文書の参照。
オプション	指定数量計算 シミュレーション	購入予定の試薬を仮想的に入庫して、消防法の指定数量を計算。
	資産評価額リスト	購入金額を元に在庫品の金額を計算。
	未使用薬品リスト	指定期間、一度もアクセスの無い試薬をリストアップ。
	アラームリスト	異常増減の発生した履歴を抽出してリストアップ。
	コメント検索	コメントⅠ、Ⅱ、Ⅲの内容を検索して、該当試薬をリストアップ。

■ Data Manager の起動

① Data Manager は以下の 2 通りの方法で起動します。

A e-web メニューバー上の“Data Manager”ボタンを押す。

B アドレス欄に以下の URL を入力する。

大岡山・田町地区：

http://chemrs-o.envpro.titech.ac.jp/r5_dm/

重量管理：

http://chemrs-g.envpro.titech.ac.jp/r5_dm/

すずかけ台地区：

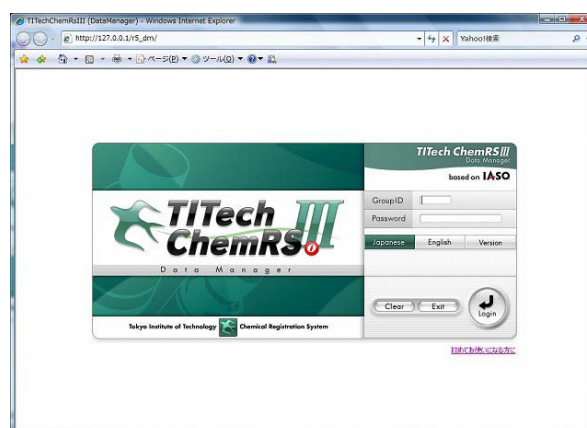
http://chemrs-s.envpro.titech.ac.jp/r5_dm/

② TITech ChemRSⅢと同様に Group ID 欄にアルファベット

3 文字の ID を、Password 欄にパスワードを入力して、

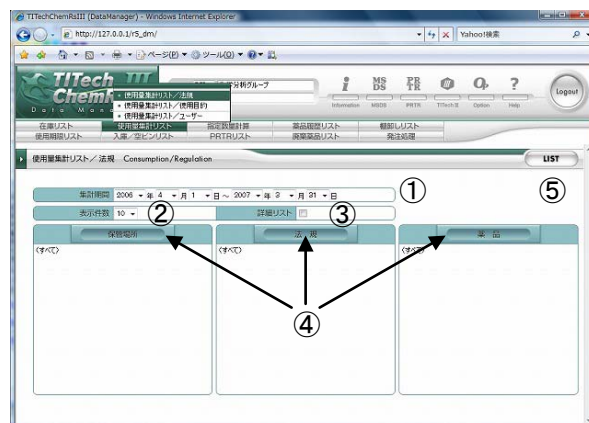
ログインボタンを押して下さい。

③ メイン画面上部の機能メニューから、集計したい項目を選択してください。該当する集計画面に切り替わります。



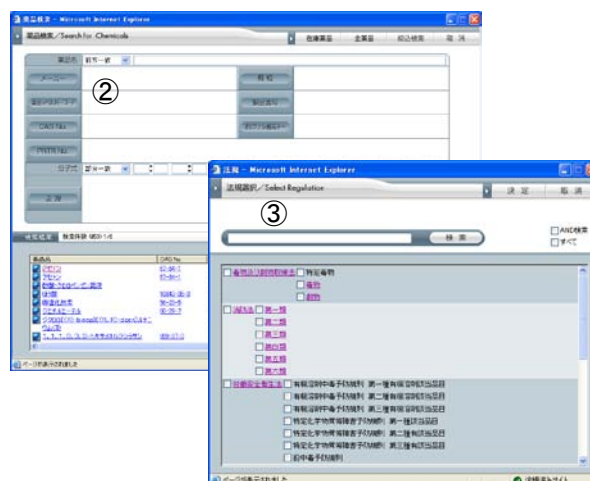
■Data Manager の基本操作

- ① 集計期間: YYYY 年 MM 月 DD 日～YYYY 年 MM 月 DD 日で指定します。
- ② 表示件数: 集計結果や選択結果の件数が多いことを考慮し、表示件数を選択できます。10 件が初期設定になっています。
- ③ 詳細リスト: チェックを入れるとピンレベルでのリストで表示されます。
- ④ 保管場所／法規／薬品の条件設定が可能です。各ボタンをクリックすると条件設定画面が表示されます。⇒【検索条件の設定】を参照
- ⑤ “LIST”ボタンを押すと設定した条件で集計結果が別画面で表示されます。⇒【集計結果の表示】を参照

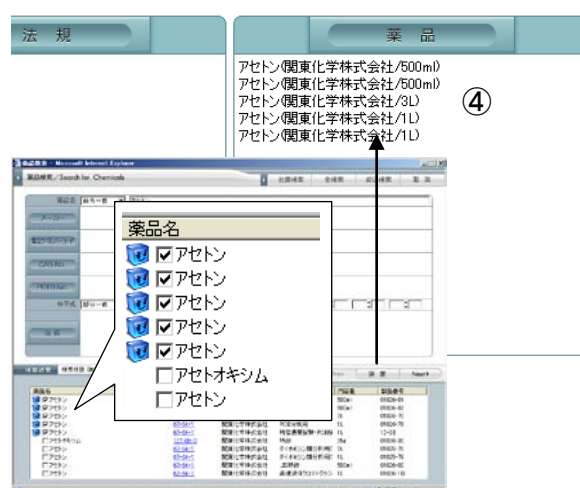


【検索条件の設定】

- ① 保管場所／法規／薬品のボタンを押すと各条件設定画面が表示されます。
- ② 薬品検索では薬品名、CAS No.、分子式、法規等を条件に検索でき、対象と薬品を下部に一覧表示します。ダブルクリックすると集計の検索条件になります。
- ③ 保管場所や法規は、集計の検索条件にしたい項目にチェックをいれ“決定”ボタンを押してください。
これらの設定画面には語句検索機能が付いていますので、キーワードから対象となるものだけを選ぶこともできます。



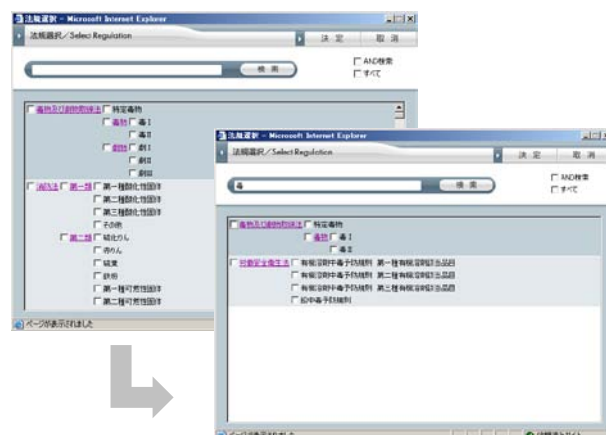
- ④ 複数の薬品を集計の検索条件としたい場合は、検索結果の薬品名隣にあるチェックボックスにチェックを入れて“決定”ボタンを押してください。



【キーワード検索】(e-web, Data Manager)

保管場所選択、法規選択、使用目的選択等のサブフォーム内をキーワードで検索できます。

- ① 検索カラム内に入力したキーワード(文字数の指定無し)を入れ、「検索」ボタンを押します。部分一致で検索され、合致した内容のみが表示されます。
- ② 表示内容の選択は、e-web(インプット用画面)ではダブルクリックで、Data Manager(アウトプット用画面)ではチェックを入れて「決定」ボタンを押してください。

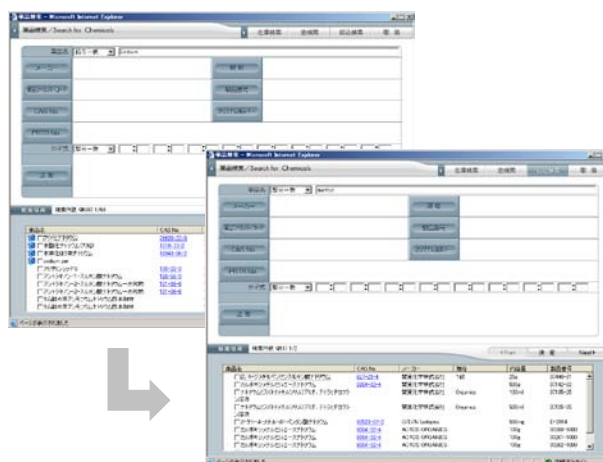


【絞込検索】(e-web, Data Manager)

薬品検索において、一度検索した結果から更に絞込みが可能になりました。

- ① 薬品名(前方、後方、部分一致)、メーカー、規格等で検索を行います。その際に、「全薬品」を押すとデータベースにある全ての薬品が、「在庫薬品」を押すと研究室に在庫している薬品のみが検索対象となります。
- ② 新たに検索条件を入れ「絞込検索」を押します。①の検索結果を更に新たに設定した条件で検索されます。

※ 複数条件での検索は、同一項目内は“OR”、各項目間には“AND”となります。



【集計結果の表示】

- ① 詳細リストにチェックを入れない場合(初期設定)では、集計結果は薬品単位で表示されます。

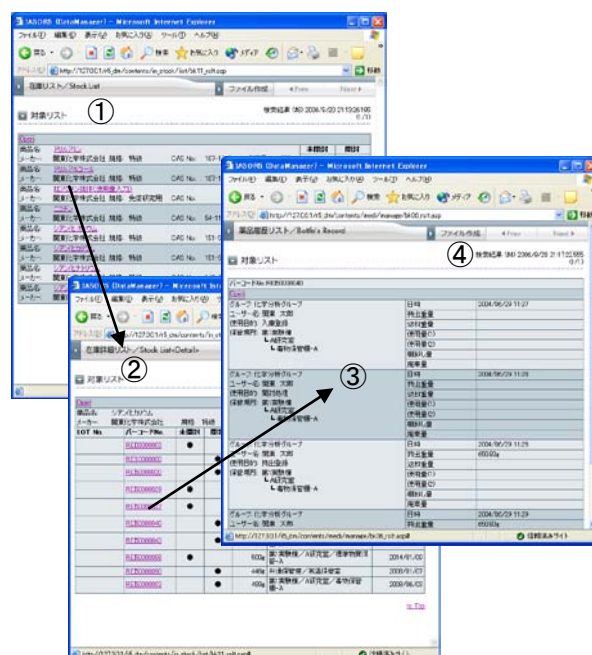
※ 集計結果の上部に表示される集計条件は Close ⇄ Open で表示／非表示を切替えられます。

- ② 薬品名がリンクになっていますので、クリックするとピンレベルでの集計結果が別画面で表示されます。

※ 単位管理をしている薬品(毒物・劇物・PRTR一種以外)は、空ビンにした時点で使用量がカウントされます。使用中の薬品の使用量および見掛残量は「* * *」で表示されます。

- ③ TITech バーコード No.をクリックすると、対象薬品の薬品履歴リスト(詳細な管理台帳)が別画面で表示されます。

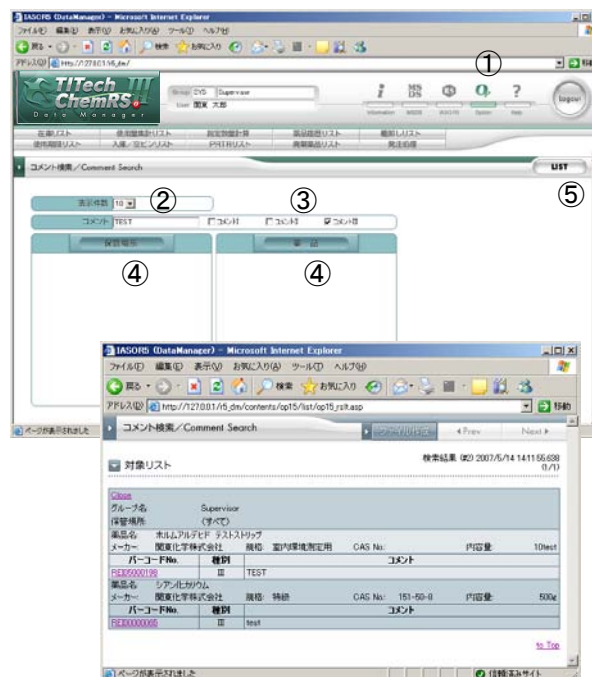
- ④ 各集計結果は CSV 形式でファイル化することができます。画面上の“ファイル作成”を押してください。“ダウンロード”に表示が切り替わり、ファイルの保存方法を指定できます。



【コメント検索】(Data Manager)

薬品マスタデータに登録されている「コメントⅠ」、薬品登録時に入力された「コメントⅡ」、持出・返却時に入力された「コメントⅢ」を検索して、該当薬品ピンをリストアップできます。

- ① Data Manager のツールバーの「Option」ボタンを押すとサブメニューが表示されますので、「コメント検索」を選択してください。
- ② コメント欄に検索したいキーワードを入力します。コメントの検索は部分一致です。
- ③ 検索対象としたいコメントを限定する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。何もチェックしない場合は全てのコメントが検索対象となります。
- ④ 保管場所／薬品の条件設定が可能です。各ボタンをクリックすると条件設定サブフォームが表示されます。
- ⑤ 「LIST」ボタンを押すとキーワードに合致したコメントを持つピンがリストアップされます。



■ 注意事項

TITech ChemRSⅢの e-web および Data Manager は Web アプリケーションであり、Windows は Internet Explore 6.0/7.0、Macintosh は SAFARI で設計／検証を行っております。その他のバージョンや他のブラウザでは、正常に動作しない場合がございます。また以下の点にご留意下さい。

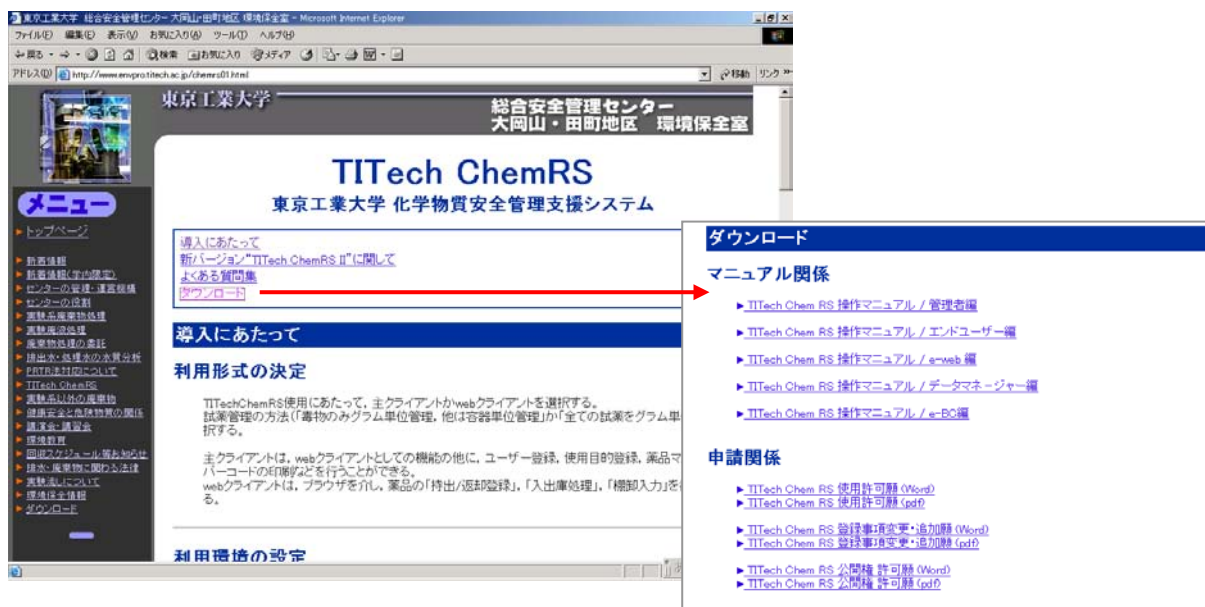
- ① ブラウザの設定
ログインボタン下のリンク“初めてお使いの方に”をクリックすると、TITech ChemRSⅢを使用するための設定方法を記載したドキュメントが表示されます。記載されている手順に従い、事前に利用されるパソコンの設定をしてください。
- ② タイムアウト
何も操作しない状態で 20 分程度経過すると自動的にログアウトします。ログイン画面に戻りますので、再度ログインし直してください。
- ③ ログアウト
e-web および Data Manager の右上に“ログアウト”ボタンがあります。システムを終了する場合は、必ず“ログアウト”ボタンを押してログイン画面に戻ってから、ブラウザを終了してください。
- ④ 「戻る」・「進む」ボタンの使用禁止
ブラウザの標準機能である「戻る」と「進む」を使用すると、ページ間の移動とデータの更新の整合性がとれなくなる可能性があります。ブラウザの「戻る」・「進む」ボタンによってページ移動があった場合のデータの正当性は保証しかねますので、e-web および Data Manager での使用はお控えください。

問合せ窓口

TITech ChemRSⅢの管理運営に関するご要望は環境保全室へお寄せください。

TITech ChemRS の各種申請書類(使用許可願、登録事項変更・追加願、公開権許可願)は環境保全室のホームページ(<http://www.envpro.titech.ac.jp/chemRS.html>)から入手できます。

また、ホームページではシステム設定方法やFAQ(よくある質問)も掲載しておりますので是非ご参照ください。



システムの機能についてのご質問は関東化学機材部宛お願い申し上げます。また、ホームページでもユーザーサポートの窓口を設けております。ご利用ください。

■ IASOサポートサイト

<http://www.iaso.info>

■ 関東化学(株) 試薬事業本部機材部

東京都中央区日本橋本町 3-11-5 マルサンビル

TEL(03)3667-6471/FAX(03)3667-6892

E-mail: iaso@gms.kanto.co.jp





高圧ガス管理支援システム TITech-G 使用方法ユーザー編

■ TITech-G の起動

- ① ウェブブラウザを起動して、ショートカットからアドレス欄に以下の URL を入力します。
大岡山・田町地区：
<http://chemrs-o.envpro.titech.ac.jp/gus/>
すずかけ台地区：
<http://chemrs-s.envpro.titech.ac.jp/gus/>
正常に化学物質管理用サーバに接続されればログイン画面(Fig.1)が表示されます。
- ② Group ID 欄にアルファベット 3 文字の ID を、Password 欄にパスワードを入力して、Login を押して下さい。
- ③ ログインすると、メイン画面 (Fig.2) が表示されます。上部中央にログイン者のグループID、グループ名、ユーザー名が表示されますので確認してください。
- ④ 画面上部に機能メニューから、目的とする処理をクリックして下さい。

(Fig.1)



(Fig.2)



■ 購入したボンベの登録（新規ボンベ登録）

1. 登録するガスの検索

データベースを検索して該当するガスのデータを画面上に読み出します。

※データベースに対象ガスのデータが無い場合は、申請機能でガスマスタの追加申請をしてください。

- ① メニューバー上の“新規ガス登録”ボタンを押すとガス登録画面(Fig.3)に切り替わります。
- ② “ガス検索”ボタンを押し、ガス検索画面を別ウインドで表示します。

(Fig.3)



- ③ 製品名(前方・後方・部分・完全一致)、CAS No.、ガス区分、物質などを選択し、登録するガスを検索してください。在庫検索は、在庫品のみが検索対象となり、全検索は、登録済全データが検索対象となります。
- ④ 画面下に表示される検索結果から、登録するガスの製品名をクリックします。
- ⑤ ポンベ登録画面に選択したガスが表示されます。
- ⑥ “Enter”ボタンを押すとポンベ情報入力画面(Fig.4)が表示されます。

2. ポンベ情報の入力

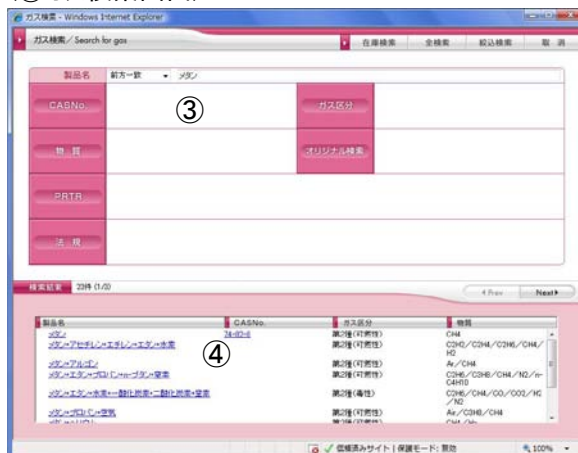
物質名／混合比、充填量／容器、純度、容器所有、保管場所などの項目を入力／選択します。

- ⑦ ポンベについての必須情報(充填量・容量／混合比／純度／充填圧力／容器所有)を入力します。
※液化ガスの場合、ポンベの登録単位は Kg となります。
- ⑧ 保管場所を選択します。

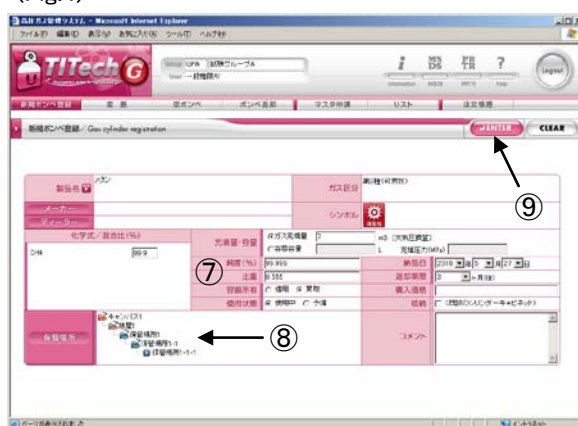
※ TITech ChemRS では一度と登録した情報は変更できませんが、TITech-G はポンベ返却処理を行うまで何度でも変更することが可能です。

- ⑨ “Enter”ボタンを押すと容器刻印No.入力画面(Fig.5)が別ウインドで表示されます。
- ⑩ 容器刻印No.(ポンベ本体に刻印・印刷されたユニークな番号で、TITech ChemRS の TITech バーコードに相当します)を入力します。
- ⑪ “決定”ボタンを押して登録処理が完了します。
容器刻印No.が重複するとエラーが表示されます。この場合は管理担当部署にご連絡願います。

(②ガス検索画面)



(Fig.4)



(Fig.5)

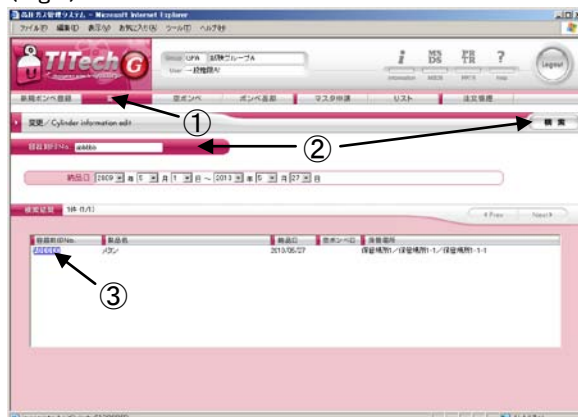


■ ポンベ情報の変更（保管場所変更等）

- ① “変更”ボタンを押すと対象ポンベ検索画面(Fig.6)が表示されます。
- ② 情報を変更したいポンベの容器刻印No.を入力して“検索”ボタンを押します。
- ③ 該当するポンベが検索結果に表示されます。容器刻印No.をクリックしてください。

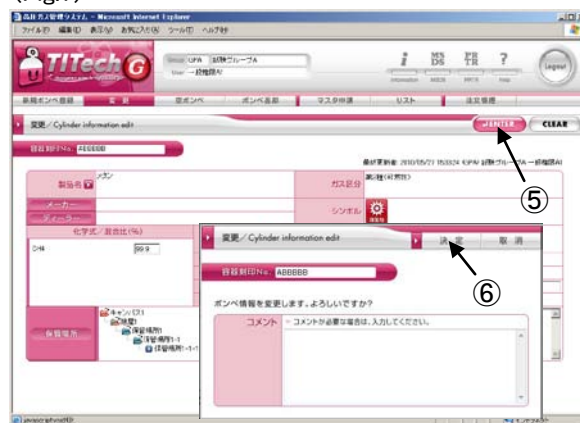
※ ポンベの容器刻印No.を入力せずに“検索”した場合は、集計期間中に該当する使用中のポンベの一覧が集計結果に表示されます。

(Fig.6)



- ④ 新規ボンベ登録時のボンベ情報入力画面(Fig.4)と同じ画面(Fig.7)が表示されます。
製品名、ガス区分、シンボル以外は全て変更可能です。
- ⑤ 変更箇所を入力後“Enter”ボタンを押してください。
- ⑥ 確認画面が別ウインドで表示されます。“決定”ボタンを押すと変更処理が完了します。

(Fig.7)

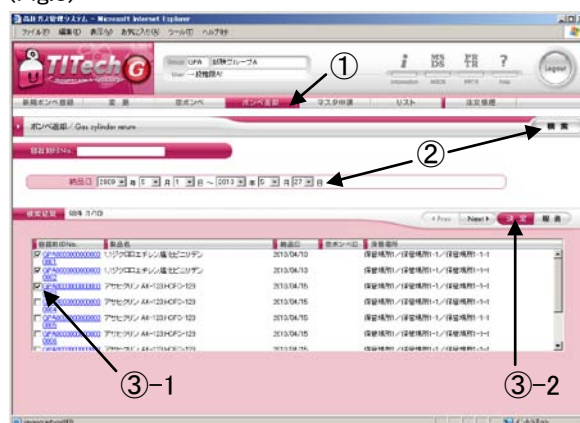


■ ボンベの返却（買取の場合は空ボンベ）

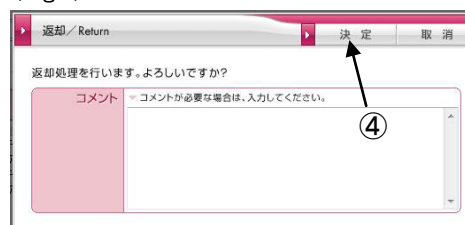
ボンベ返却または空ボンベ処理を行うことで、対象ボンベは在庫から外れ、容器刻印No.が再度入力可能となります。
買取ボンベなどの業者に返却しないボンベの場合は“空ボンベ”を、借用の場合は“ボンベ返却”を選択してください。
以下はボンベ返却時の説明となります。

- ① “ボンベ返却”ボタンを押すと対象ボンベ検索画面(Fig.8)が表示されます。
 - ② 集計期間を選択して“検索”ボタンを押すと、集計期間中に納品されたボンベの一覧が集計結果に表示されます。検索結果の容器刻印No.をクリックすると対象ボンベの詳細画面が表示されます。
- ※ ボンベの容器刻印No.を入力すると対象ボンベのみを選択することができます。
- ③ 返却するボンベ全てにチェックを入れて、“決定”ボタンを押してください。
 - ④ 確認画面(Fig.9)が別ウインドで表示されます。“決定”ボタンを押すと返却処理が完了します。

(Fig.8)



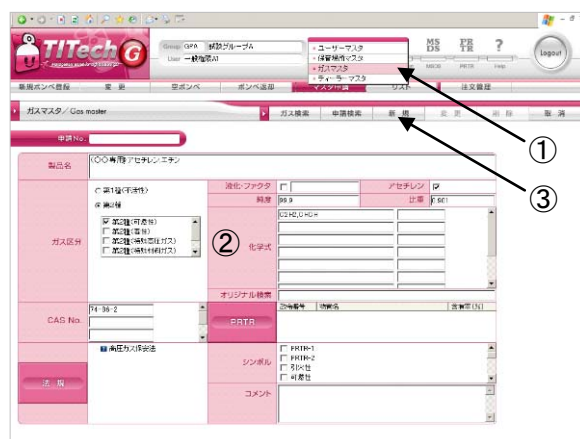
(Fig.9)



■ マスタ申請

TITech-G も、TITech ChemRS 同様にユーザー、保管場所、ガス、ディーラーについてマスタの新規登録を Web 上から申請できます。

- ① “マスタ申請”ボタンを押すと、プルダウンメニューが表示されますので、申請したいマスタの項目を選んでください。
- ② 各マスタのフォームに必要項目を入力します。画面はガスマスタ申請です。
- ③ “新規”ボタンを押すと、申請確認画面が別ウインドで表示されます。コメントが必要な場合は入力し、“決定”ボタンを押すと申請が完了します。



■リスト機能の使い方

「リスト」ではグループで所有された、過去に持っていたガスボンベについて3種類の集計が可能です。

在庫リスト： 保管場所・ガス種(ガス・区分・法規)・購入先を条件に在庫の一覧表を作成。

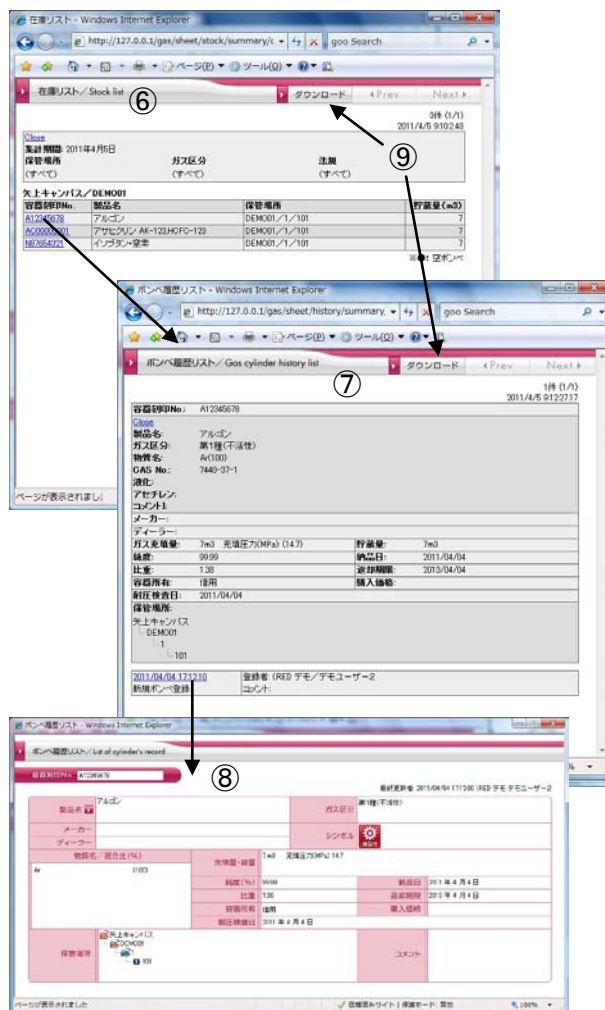
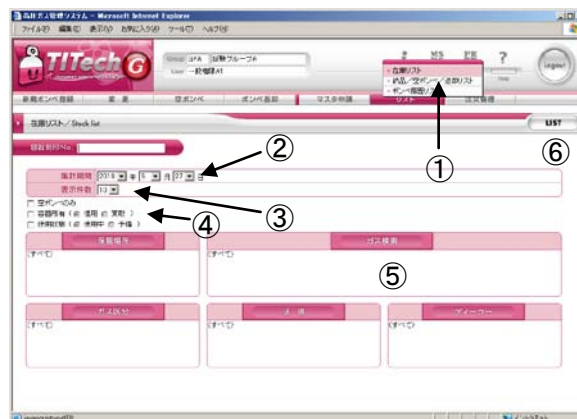
納品／空ボンベ／返却リスト：

納品日／空ボンベ日／返却日別にリストを作成できます。保管場所、ガス種、返却期限等の条件設定が可能です。

履歴リスト ボンベの納入～返却の履歴が閲覧できます。

以下、使用方法を在庫リストで説明いたします。

- ① 集計したい機能を選びます。
- ② 集計期間：YYYY年MM月DD日を指定します。
- ③ 表示件数：集計結果が多いことを考慮し、表示件数を選択できます。10件が初期設定になっています。
- ④ 空ボンベのみのリストアップ。借用・買取別のリストアップが選択できます。
- ⑤ 保管場所／法規／薬品の条件設定が可能です。各ボタンをクリックすると条件設定画面が表示されます。条件の設定方法はTITech ChemRSと同様です。
- ⑥ “LIST”ボタンを押すと設定した条件で集計結果が別画面で表示されます。
- ※ 集計結果の上部に表示される集計条件は Close⇔Open で表示／非表示を切替えられます。
- ⑦ ガス名がリンクになっています。クリックするとボンベレベルでの集計結果が別画面で表示されます。
- ⑧ ボンベの容器刻印No.をクリックすると、対象薬品の薬品履歴リスト(詳細な管理台帳)が別画面で表示されます。
- ⑨ 各集計結果は画面上の“ダウンロード”を押すことで CSV形式でファイル化することができます。



販売

関東化学株式会社

試薬事業本部 機材部

〒103-0022

東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号

TEL 03-6214-1094 FAX 03-3241-1056

E-mail: instru-info@gms.kanto.co.jp

開発



東北緑化環境保全株式会社

測定分析事業部 IASOチーム

〒980-0014

宮城県仙台市青葉区本町2丁目5番1号

TEL 022-263-0641 FAX 022-223-5237

E-mail: iaso@tohoku-aep.co.jp